

総合工学委員会・機械工学委員会合同
計算科学シミュレーションと工学設計分科会小委員会の設置について

分科会等名：計算科学を基盤とした産業競争力強化の検討小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○総合工学委員会 機械工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>本小委員会は「計算科学シミュレーションと工学設計分科会」の下に第24期において設置、開始し、第25期及び第26期において継続。</p> <p>第24期では、計算科学の研究成果を産業競争力強化に寄与しうる技術として発展させて裾野を広げ、それにより計算科学基盤を強化するという好循環を実現するため、今後解決すべき技術的・政策的課題、必要とされる人材及びその育成、他分野との連携などについて関係者で議論を行った。さらに、活用や実用化に関するシンポジウム開催とアンケートを実施した。</p> <p>第25期では、シンポジウム等を開催し、本小委員会、計算科学シミュレーションと工学設計分科会等で議論を重ね、「見解」として発出することができた。</p> <p>第26期では、ソフトウェア産業利用の現状や課題の調査継続と、発出した「見解」の提案内容を広く周知し意見等を収集分析するため、シンポジウムや計算科学関係者他からの講演等を開催する。さらに、提案内容を社会実装につなげるための考え方の枠組み、施策を検討する。</p> <p>委員の人数構成は産学を基本として、産と学は同程度とし、産学で課題を共有する。</p>
4	審議事項	<p>1. シミュレーションソフトウェアの産業利用の現状と課題の調査（現場視点からの議論、例えば、計算科学教育の状況把握、計算科学の普及が遅れている地域の公設試験研究機関や中小中堅企業等における課題など）</p> <p>2. 第25期発出の「見解」の提案内容を基に、技術的・政策的課題の議論、社会実装に向けた施策案の検討（具体的事例を題材にして議論など）</p>

		に係る審議に関すること
5	設置期間	令和6年5月31日～令和8年9月30日
6	備考	